



六角堂 (南方)

市指定文化財の六角堂は、奥州三十三観音の一つ「大嶽山興福寺」の一面にあり、興福寺の観音堂が再建されるのに先立ち、明治17年に建築された仏堂です。横18・6尺、縦15・5尺の二階建土蔵造りで、地階は洗人造石、二階は漆喰となっており、東側にはベランダも取り付けられています。屋根が青色の六角形（不等辺）であることから、六角堂と名付けられました。

昭和40年、東北大学工学部の横山教授が、伝統を尊ぶ仏堂に洋風の建築様式が加味されていることに注目し、日本建築学会に報告。モダンなのに周囲の風景になじむ珍しい建築物であるということ、一躍注目されることになり、昭和51年に南方町の文化財に指定されました。

【所在地】〒987-0423 登米市南方町本郷大嶽18番地
【問い合わせ】大嶽山興福寺 ☎ 0220 (58) 3572

また、興福寺の山門を彩るアジサイも見事で、季節によつてはシャガ、シャクナゲ、桜などが訪れた人たちの目を楽しませてくれます。小正月のどんと祭、五穀豊穣と家内安全を願って3月に行われる大般若巡行、秋祭りなども行われ、一年を通して人々が集う場所となっています。

歴史博物館

広報ミニ展示室 20

登米市の偉人伝② 石川桜所

石川桜所は、幕末・明治の激動の時代に医学で国に貢献しました。桜場村（現中田町）の出身で、初めは千葉三安と称していました。伊藤玄朴に西洋医学を学び、



石川桜所
(登米市歴史博物館所蔵)

長崎ではオランダ人から蘭学を学んで技術を習得し、仙台藩医員となりました。その後、江戸幕府に召上げられて法眼の位を賜り侍医になると、將軍慶喜から「桜所は医国の才」と信頼を置かれ、法印の位を賜りました。戊辰の役では將軍に従ったことから、敗戦後は將軍補佐の罪に問われて1年間の投獄。しかし、桜所の医学の技量は新政府にとっても必要だったため、明治4年に兵部省に召され、その後は軍医監として活躍しました。現在は、中田町の国道346号線沿いにある碑が桜所の偉業を伝えています。

石越冬のまつり

1/14 (月)

今年も魅せます冬の花火。
豪華スターインが澄みきった
冬空に大輪の花を咲かせます！
企業PRや各種祈願花火を受け付け中です。

【場所】石越総合運動公園特設会場

【イベント内容】

- 古守札焚上祭（どんと祭） □午後4時～
 - 抽選会 □午後4時～8時
 - ステージイベント □午後5時30分～7時
(和太鼓演奏、よさこい踊り、バンド演奏ほか)
 - 冬の花火 □午後7時～8時
- ※天候不良の場合は1月15日（火）に順延。
※みんなで「石越あじさい花火」を打ち上げませんか。1口500円から受け付けています。
※企業PRや各種祈願花火も受け付け中です。

【問い合わせ・花火受付】

石越冬のまつり奉賛会
(登米中央商工会石越町支所内)
☎ 0228 (34) 2064

